

「成田山新勝寺と国立歴史民俗博物館」

7:30 称名寺東公園からチャーターした
「はとバス」で出発。

湾岸線/東関東道経由で、歌舞伎役者「市川団十郎」
や「大相撲・横綱」の節分の豆まきなどでおなじみの
成田山新勝寺に到着。

(因みに市川家の屋号は「成田屋」です)



成田山新勝寺は最強の「不動明王」を本尊と
し、真言宗智山派の大本山です。
到着後、3グループに分かれ、現地ボランティ
アガイドさんの案内で境内を巡りました。



境内には国指定重要文化財の「仁王門」、「釈
迦堂（前本堂）」、「三重塔」、「光明堂
（前々本堂）」等々見事な建物が現存しており
見どころ満載でした。

特に案内された釈迦堂の「五百羅漢」や「二十
四孝」の見事な彫物には感動し、思わず見入っ
てしまいました。

浮御堂の浮かぶ「竜智の池」や豪快な「雄飛の
滝」などが有名な「成田山公園」。一步足を踏
み入ると、そこは鳥のさえずりと水の音が心地
よく響く癒しの空間でした。

参道にあるお土産物屋さんで買い物を楽しみ、昼食には総門前にある鰻で有名な「若松本店」でうな重を堪能しました。



新勝寺をあとに、バスで40分ほどの佐倉市にある「国立歴史民俗博物館」に移動。

「国立歴史民俗博物館」は佐倉城址にある国内最大級の規模を誇る日本の歴史と民俗文化を網羅した「歴史の殿堂」ともいわれております。



時系列的な5つの展示室のほかに、「民俗」視点の時代横断的展示室もあり、かなりの見応えです。今回は1時間半ほどの時間しか取れませんでした、ゆっくり見ると丸一日はかかるそうです。



<国立民俗博物館にて>

バス旅行の前週は30℃近くになる日もあり、暑さ対策を考えていましたが、幸いにも薄曇りの過ごしやすい気候の中で楽しい時間を過ごすことができ、17:30頃全員無事に称名寺東公園に到着しました。
ご参加頂いた皆様のご協力に感謝いたします。